

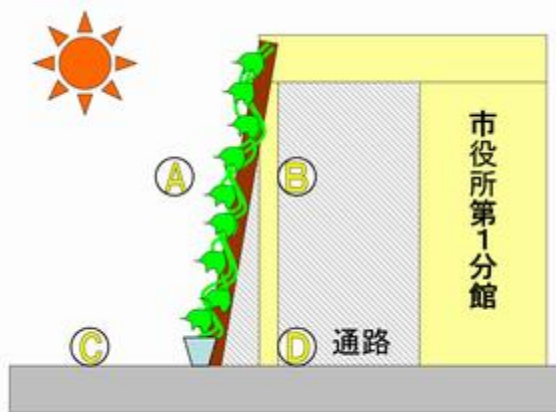
緑のカーテン～ゴーヤ・アサガオ成長日記～(平成 23 年度)

松阪市役所第一分館で育てている

ゴーヤとアサガオの成長日記を更新していきます。



ー9月15日ー 今年も緑のカーテンの効果を測りました！



緑のカーテンの効果を調べるため、例年通り左図のように市役所第1分館に設置してある緑のカーテンの外側2ヶ所(A、C)と内側2ヶ所(B、D)の合計4ヶ所で気温を測り、カーテンがある時とない時の気温の違いを調べました。

測定期間は8月23日～9月1日の内の6日間で測定しました。

<緑のカーテン 気温の測定結果>

実施日	時間	天候	温度(°C)					
			地面から150cm			地表面		
			A:外側	B:内側	温度差	C:外側	D:内側	温度差
8月23日	14:00		36.4	30.7	5.7	40.6	31.3	9.3
8月27日	13:30		31.3	29.2	2.1	33.2	29.0	4.2
8月29日	13:30		32.2	29.6	2.6	34.8	30.0	4.8
8月30日	13:00		32.2	29.3	2.9	34.1	29.4	4.7
8月31日	13:30		30.7	29.1	1.6	32.1	28.5	3.6
9月1日	13:30		30.2	28.6	1.6	31.3	28.4	2.9

結果は上記のようになり、地上 150cm で平均 2.8°C、地表面で平均 4.9°C低いことがわかりました。測定日のうち最も暑い日では、地上 150cm で最大 5.7°C、地表面で最大 9.3°Cも温度上昇を抑えることができました。緑のカーテンは、猛暑の日差しもしっかりさえぎり、温度上昇を抑える効果がありました。



—7月26日— 日差しをさえぎっています！



7月も下旬となり暑い日が続いていますが、第一分館の緑のカーテンは、写真でもわかるように、カーテンの内側が暗くなっており、夏の強い日差しをさえぎってくれています。

まだまだこれから葉っぱが広がり、更に生茂ってくれることでしょう。生茂ってきましたら、今年もカーテンの効果がわかるように温度測定を行っていく予定です。



追肥として粒状の肥料を与えました。

(写真では、白色の粒です。)

粒状の肥料は、液体の肥料に比べて徐々に栄養を与えますので、長期的に効果があります。

今回は粒状の肥料を与えましたが、ご家庭ではお米のとぎ汁や生ごみを堆肥化した肥料を使用するとエコになりますね。



ー7月11日ー 梅雨明けとともにつるが大きく伸びました！



気象庁では、7月8日に東海地方の梅雨明け(速報値)を発表し、平年(平成22年までの過去30年の平均)よりも約13日早い梅雨明けとなりました。ゴーヤとアサガオは、梅雨明けとともにぐんぐん伸びて、木枠の上部まで早くも到達しました。一度摘芯を行いました、横につるが広がるように、上まで伸びたつるの摘芯を行いたいと思います。



今年もアサガオの花が咲き始めました。これからどんどん花が咲いてくることでしょう。花を見ることで緑のカーテンの楽しみが増えますね。秋にはたくさんの種ができるのを期待したいと思います。採取した種は、来年の取り組みのために保存しておきます。皆さんも採取した種は保存し、来年の緑のカーテンにつなげていきましょう。



—6月30日— 成長日記をつけはじめました！



今年も緑のカーテンの木枠を設置しました。
立派な緑のカーテンになるように、頑張って育てていきます。
今年も緑のカーテンについて紹介していきますのでよろしくお願いいたします。



昨年度は、発泡スチロールで作ったプランターを使用しましたが、更にゴーヤ・アサガオの根が深くまで伸ばし、葉やつるが広がるために、プランターを2段から3段にし、土の量を増やしました。
植え替えを行って約二週間ですが、日に日につるが伸び、元気に育っています。

